

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム コスモス

作成日 : 平成 27 年 4 月 2 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 法人の経営理念、及び行動指針に基づき、これまで積み重ねてきた実践の取り組みも踏まえて、地域密着型サービス事業所独自の理念の検討が望まれる。	地域密着型サービス事業所の意義を踏まえたグループホーム独自の理念を作成する。	利用者、職員と理念の作成に向けた会議を開催し年度内に作成する。	12ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護職員と介護支援専門員との連携、ケアカンファレンスの充実強化、及び利用者の課題を介護計画に反映させ、目標と支援内容を一致させる取り組みが望まれる。	介護職員と介護支援専門員が連携して、利用者の課題を分析し、作成した介護計画に基づいた支援を行う。	定期的に個別のカンファレンスを開催し、利用者の課題を介護計画に反映させ目標と支援内容が一致しているか皆で確認する。	12ヶ月
3	49	○日常的な外出支援 重度の利用者も含め、できるだけ全員が外出できる機会を増やし、気分転換が図れるような、工夫を期待したい。	全入居者の外出支援を計画し実施する。	利用者の身体状況に配慮した外出先の選択や外出方法を検討し外出する機会を増やす。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。